北海道医師会館９階理事会室

第４回理事会

日　時　令和２年10月10日（土）16：00～17：07
場　所　北海道医師会館９階・理事会室
出席者　長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・岡部・伊藤・笹本・青木・荒木各常任理事、阿久津・山下両理事、藤瀬・外園両監事、井門副議長
（Web参加者）水谷常任理事、松家・立石・恩村・沖・文屋・吉田各理事、篠島監事、本間議長
（事務局：柴田次長ほか12名）

１．開　　会
２．会長挨拶
３．報告事項
⑴　道議会新庁舎内完全禁煙に関する要望書手交［10月９日（金）］について（長瀬会長）
北海道議会新庁舎内における北海道議会議員の喫煙に関する報道を受け、当会、日本禁煙推進医師歯科医師連盟北海道支部、日本禁煙学会北海道支部の三者連名により北海道知事ならびに北海道議会議長に対し、改めて喫煙室設置反対の件を含め北海道議会新庁舎を完全禁煙するよう要望書を手交した。
⑵　日医理事会報告（長瀬会長・藤井常任理事）
令和３年度医療に関する税制要望の件、死因究明等推進計画検討会の件、新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの件、社会保障審議会介護給付費分科会の件等の報告と、2020年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考の件、「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」開催の件、第２回都道府県医師会長会議開催の件等につき協議した。また事前の理事打合会において、政府が推進する「オンライン資格確認」に対する意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。
⑶　日医各委員会報告
１）医療情報システム協議会運営委員会［10月７日（水）］について（藤原副会長）
来年３月６日（土）・７日（日）に日医会館大講堂で行い、WEBで中継する日医医療情報システム協議会のプログラム（案）、座長、メインテーマ、WEB開催、WEB展示等について協議し、メインテーマは「つながれ、輝け　医療ICT」に決定した。WEB開催に関しては、都道府県医師会もしくは個人への配信とし、質問は事前にメールで受付することとした。
４．承認事項
⑴　事務局長の任免について（長瀬会長）
現局長の退職に伴う後任人事として、次期の局長が決定するまでの間、総務部管掌の柴田次長を事務局長代行者とすることと決定。
⑵　日本医師会医療政策会議の委員委嘱について（目黒常任理事）
長瀬会長の委員委嘱を承認決定。
５．協議事項
第１号　令和２年度北海道医師会表彰に関する件（目黒常任理事）
当会表彰規程に基づく70歳以上で会員期間20年以上の会員155名、本会役員・代議員を通算15年以上の会員３名、Ａ会員の病院・診療所・老人保健施設従業員465名、国公立病院・診療所・老人保健施設従業員179名、医師会職員12名の合計814名を表彰選考委員会での選考結果により被表彰者と決定。
第２号　理事提案事項
阿久津理事より、「インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制」の本道における確保に関して、診療・検査医療機関として北海道から指定を受けた場合の感染時の補償等と、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）や新型コロナウイルス感染症医療機関等情報システム（G-MIS）の登録業務の問題が述べられ、地域保健部長の三戸常任理事から現時点で掌握する情報を提供し、不確認な点は追って連絡することとした。
６．道総医協関連事項（深澤副会長）
第３回理事会（８月22日）報告以降に開催された会議について報告した。
７．閉　　会

第14回常任理事会

日　時　令和２年10月13日（火）18：00～18：53
場　所　北海道医師会館９階・理事会室
出席者　長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・

山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外園各監事

（事務局：柴田次長ほか11名）

協議事項

第１号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座11件を承認することと決定。

第２号　その他

⑴　日医外国人医療対策委員会の委員委嘱に関する件（目黒常任理事）

伊藤常任理事の委員委嘱を承認決定。

報告事項

１．第１回北海道ドクターヘリ基地病院連携会議［10月２日（金）・函館市］について（目黒常任理事）

道内４ヵ所の基地病院を含めた関係者により今年度は函館地区で開催した。災害時における各航空部門の情報共有の重要性と、COVID-19における各基地病院の感染対策の現状報告があり、意見交換を行った。

２．北海道ドクターヘリ安全研修会［10月２日（金）・函館市］について（目黒常任理事）

日本ヒューマンファクター研究所・松本研究主幹が講師となり「熟練者のエラーマネジメント―思い込みへの対応―」をテーマに、熟練者が陥りやすい思い込みへの対応、コミュニケーション共有による保安・安全の重要性とリスクマネジメントについてリモート講演を行った。続いて「道南ドクターヘリにおける安全運航の取り組み」について、医師・看護師・運航会社・消防機関関係者４名によるパネルディスカッションが行われた。

３．令和２年度北海道医師会賞ならびに北海道知事賞贈呈式［10月３日（土）］について（生駒常任理事）

今年度は三密対策を徹底し、列席者を限定して当会館で行った。各医師会から推薦のあった７名に対して、北海道医師会賞ならびに北海道知事賞が贈呈された。

４．各部報告

⑴　インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制について（三戸常任理事）

インフルエンザ流行期に発熱患者等が地域において適切に診療検査が受けられるよう、北海道の指定を受けた診療・検査医療機関（仮称）においては、指定期間中はG-MISおよびHER-SYSに必要な情報の入力を行うこととされている。この件に関して、10月10日の理事会での質問を受け、10月12日の三役会において医師会等の関係団体による代理での入力対応について協議した。現状、HER-SYSは保健所が代行入力しているところが多く、G-MISはより入力が簡便になるとの情報もある。しかし、数多くの不明な点があることから、北海道の担当者に詳細な説明を求め、多くの医療機関に協力いただくために負担軽減となる仕組みを検討するよう北海道と日本医師会を通じて、国に要望することとした。また、北海道には、情報を整理のうえ、医療機関に対して丁寧な説明や周知を行うよう対応を求めることとした。

道総医協関連事項（深澤副会長）

１．第３回救急医療専門委員会［９月30日（水）］について（青木常任理事）

北海道医療計画の中間見直し計画素案について協議した後、平成30年度北海道消防防災ヘリコプターによる航空機搬送事案に係る事後検証結果および十勝圏域の救急搬送体制の現状について、事務局から報告があった。

第15回常任理事会

日　時　令和２年10月27日（火）18：00～19：15

場　所　北海道医師会館９階・理事会室

出席者　長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、北野・三戸・目黒・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外園各監事

（事務局：柴田次長ほか11名）

第１号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（生駒常任理事）

認定要件を満たした新規申請者１名と更新申請者109名を承認し、日医へ申請することと決定。

第２号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（三戸常任理事）

認定要件を満たした新規申請者２名と更新申請者13名を承認し、日医へ申請することと決定。

第３号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座７件を承認することと決定。

第４号　その他

⑴　日本医師会会内委員会の委員委嘱に関する件（目黒常任理事）

山下理事の健康食品安全対策委員会委員、藤井常任理事の医師の働き方検討委員会委員と女性医師支援センター事業運営委員会委員の委嘱を承認決定。

⑵　11月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．第22回日本医療マネジメント学会学術総会［10月６日（火）～７日（水）・京都市］について（岡部常任理事）

済生会滋賀県病院・三木院長が学会長となり、みやこめっせ（京都市勧業館）、ロームシアター京都および平安神宮会館において「病院ビッグデータ革命～データ活用による『医療の質』『医療・介護連携』

の飛躍（Leap）を求めて～」をメインテーマに開催された。会長講演、招待講演、特別講演、教育講演、シンポジウム等に加え、がん研究会がんプレシジョン医療研究センター・中村所長による特別企画「内閣府AIホスピタルプロジェクト」が行われた。参加者は約2,200名（現地開催終了時点のオンライン参加者は142名）であった。次回は来年６月25日（金）～26日（土）に、大阪国際会議場（グランキューブ大阪）において開催予定。

２．日医代議員会議事運営委員会［10月21日（水）・TV会議］について（深澤副会長）

日本医師会代議員会の質問数に関して、関東甲信越ブロック医師会から代議員数に応じた質問数とするよう要望があり、現行のブロック別に代表質問２名以内に加え、「代議員数50名を超えるブロックにおいては50名又はその端数を加えるごとに１名を追加」することが決定した。これにより関東甲信越ブロック、近畿ブロック、九州ブロックが代表質問３名以内に増加し、来年３月に開催予定の日本医師会臨時代議員会から適用される。このほか、日本医師会執行部より代議員会資料のペーパーレス化、医師資格証を用いた代議員の受付に関して連絡があった。

３．医療関係者等スキルアップセミナー［10月21日（水）・恵庭市］について（三戸常任理事）

北海道健康づくり財団の委託を受け「高齢者における糖尿病・サルコペニア対策」をテーマに恵庭市で開催した。日本糖尿病学会北海道支部・吉岡支部長より、糖尿病とフレイル、サルコペニアの関連について講演の後、参加者との活発な討議が行われた。参加者は、医師、管理栄養士など51名であった。

４．医師の勤務環境の整備に関する病院開設者、病院長・管理者等への講習会［10月25日（日）］について（水谷常任理事）

日医との共催で、北海道、北海道労働局、北海道医療勤務環境改善支援センターの協力を得て、「『ウィズコロナ』新時代の医療機関における働き方改革セミナー」をテーマに開催した。「職場における新型コロナウイルス感染症への対応～医療現場から～」と題して、千歳第一病院・高坂院長から、新型コロナウイルスによる院内感染の発生直後の状況や、病院機能が停止したが閉院ではなく、コロナに特化した病院として地域の感染症センター病院の役割を果たされたことなどについて講演された。続いて、KKR札幌医療センター・大山看護部次長から院内感染対策の取組について、北海道労働局労働基準部監督課・米村課長から新型コロナウイルス感染症に関する36協定の特別条項等について講演後、意見交換を行った。なお、今回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、札幌会場のほかに、函館市と旭川市にZoomによる視聴会場を設置しWeb参加を含めて、参加者は235名であった。

５．ほっかいどう応援セミナー［10月26日（月）］について（長瀬会長）

北海道・鈴木知事が提唱する「ほっかいどう応援団会議」の取組であり、北海道の活性化に関する官民連携推進の場として、北海道では初めて本セミナーが開催された。鈴木知事、上士幌町・竹中町長、楽天（株）・武田副社長執行役員によるプレゼンテーションの後、お笑い芸人のバービー（栗山町出身）氏が応援アンバサダーとして鈴木知事から任命され、最後に、北海道大学産学・地域協働推進機構の山本特任教授がコーディネーターとなりトークセッションが行われ、ワーケーションの推進をはじめとした今後の取組について議論が行われた。

６．日医理事会報告（長瀬会長）

日本専門医機構第５回理事会の件、第131回社会保障審議会医療保険部会の件等の報告と、日本医師会会内委員会委員委嘱の件、2020年度防災訓練（災害時情報通信訓練）南海トラフ大震災想定訓練の件等につき協議した。また事前の理事打合会において、日本医師会執行部との連携強化について、郡市区等医師会との迅速な情報共有に向けて、都道府県医師会に対するWEB研修システムに関するアンケート調査について、母体保護法第14条「配偶者の同意」について意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

７．外部各委員会報告

⑴　北海道新型コロナウイルス感染症対策専門会議［10月26日（月）］について（三戸常任理事）

北海道における新型コロナウイルス感染症の発生状況、インフルエンザ流行期における発熱患者対応などについて説明があり、意見交換を行った。

８．各部報告

⑴　新型コロナウイルス感染症対策に関する北海道との打合せ［10月23日（金）］について（三戸常任理事）

北海道より、道内の感染症患者の発生動向、新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政省令の一部改正、インフルエンザ流行期に備えた体制整備について説明があり、質疑応答を行った。政令の一部改正により、感染症法に基づく入院措置の対象者が見直され、省令改正により、疑似症患者の届出は入院症例に限ることとなり、外来で疑似症の患者を診察した場合の届出は不要、検査結果で陽性の場合に改めて届出を行うこととなった。診療・検査医療機関では、発熱患者の診察実績はG-MISを活用して報告をすることとなり、医療資材の在庫状況を入力すれば、必要量を国が直接供給することとなる。G-MISでの報告項目は「診療状況」「検査状況」で、日次診療分を数字入力するだけであり、データは補助金にも関わるので診療日毎の入力が必要だが日々

の入力が困難な場合には、最低１週間程度の間隔で入力をお願いしたい。また、PPEの状況は毎週水曜日までに入力することで供給可能となる。患者情報を管理するシステムであるHER-SYSについては、対象者を感染症患者と入院を要すると認めた疑似患者に限定し、検査・受診した疑い外来患者の入力は不要となった。陽性患者を診断した医療機関では、HER-SYS上で発生届の情報入力が可能となり、従来の紙媒体による保健所への発生届は不要とされ、最低限、発生届に関する基礎情報を入力し、その他は患者の状態に応じて入力することで可とされた。また、医療機関で入力ができない場合には、従前通り保健所に提出することも可能である。

⑵　インフルエンザの流行期に備えた発熱患者への注意喚起について（チラシ）（三戸常任理事）

前回の常任理事会で作成することを検討した発熱患者向けのポスターについて、原案を提示し修正・加筆する箇所の確認を行った。なお、本チラシは11月号の北海道医報附録として会員に発送する。

９．各部報告

⑴　公明党北海道本部「政策懇談会」［11月21日（土）15：00 ～ 15：30・ポールスター札幌］ならびに自由民主党北海道支部連合会　道政課題に関する令和２年度「団体政策懇談会」［11月24日（火）16：30 ～ 17：00・道議会４階－自民党大会議室］について（荒木常任理事）

公明党北海道本部および自民党北海道支部連合会との令和２年度の政策懇談会の開催決定について報告した。

道総医協関連事項（深澤副会長）

１．第４回地域医療専門委員会［10月20日（火）］について（佐古副会長）

地域医療構想に関するこれまでの取組状況および地域医療介護総合確保基金に新設された「区分６（勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業）」について報告があり、令和２年度北海道計画および北海道医療計画の中間見直し素案（案）（介護施設、在宅医療等の新たなサービス必要量を含む）について協議を行った。

お知らせ

「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について

◇救急医療部◇

当会ホームページでは急病・急な症状時の対応を紹介する「応急手当WEB」、救急医療機関の適切な利用について理解を深めてもらう「救急医療啓発パンフレット」を登載しております。

これらの情報をより一層周知することにご協力いただけます医療機関におかれましては、自院ホームページに下記掲載URLへのリンクをお願いいたします。

なお、リンク掲載後のご連絡は不要ですが、今後の連携強化のため、リンクのご一報をいただければ幸いです。

●応急手当WEB

http://www.hokkaido.med.or.jp/firstaid/

●救急医療啓発パンフレット

http://www.hokkaido.med.or.jp/hokkaido/ambulance.html

連絡先：北海道医師会事業第四課

TEL　011-231-1727　　FAX　011-210-4514　　E-mail　4ka@m.doui.jp